

# 小学校 2年 生活科

感じる  
表す

話す・聞く  
書く

育成したい  
国語力

おもしろかったこと、印象に残ったこと、伝えたいことについて書く。  
順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文章を書いたり紹介したりする。  
おもしろかったこと、印象に残ったこと、話し手が伝えたいことなどを聞き取る。

## 単元名

### 「みんな大きく なったよね」

## 本時の目標

自分の成長について写真や身近な人から聞いたことなどを基にまとめ、「わたしの本」を作ることができる。また、本作りを通して、自分の成長には多くの人の支えがあったことに気付き、感謝の気持ちをもつ。  
<身近な環境や自分についての気付き>

### 国語力育成の視点

自分の考えや思いを言葉を使って表すには、カルタ、絵本、紙しばい、歌など様々な方法があります。一人一人の思いや願いを生かすため、国語科で付けた力を活用して楽しく活動を展開し、表す力や感じる力を育成することが大切です。また、言葉を活用することの便利さや、楽しさを体験することが、国語への関心や意欲を高めることにつながります。

### 視点 ①

小さな頃の自分を知るために、身近な人から話を聞く場を設けます。  
聞いたことの中から、自分にとって興味のあること、確かめてみたいことなどについて、さらに詳しく聞き直すことが大切です。

### 視点 ②

それぞれの児童が準備した「できごと」や「おもいで」には、個人差が大きいことが予想されます。聞き返したり、共感したりしながら、児童が伝えたいことは何かを明らかにし、「できごと」や「おもいで」を工夫して楽しく表現できるように指導します。  
また、友達によく分かるように意識して、主語と述語をはっきりさせたり、順序が分かるように組立を考えたりにして文章を書くようにしていきます。

### 導入

聞き取りなどをして集めた楽しかったり印象に残ったりした「できごと」や「おもいで」を思い起こす。

本時のめあてを確かめる。

めあて  
「わたしの本」を作ろう！

### 展開

「できごと」や「おもいで」を年齢の順序に並べる。

それぞれの「できごと」や「おもいで」ごとに、ページを割りふる。

ページごとに「できごと」や「おもいで」について、写真をはったり、絵と文でかいたりする。

最終ページにどんな3年生になりたいかを書く。

表紙の絵、目次など、本の体裁を整える。

自分の本を友だちに紹介する。

### まとめ

友達の本を読んで、自分と友達では異なるところもたくさんあるが、自分と同じように成長していることや、成長を支えてくれた人々がいることに気付き、成長を喜び合う。

## 児童の作品

### わたしの本

うまれたとき  
わたしは、げんきなうぶごえをあげて、朝はやくうまれました。おかあさんが、すぐにわたしをだきました。「小さかったけど、とてもかわいかったよ。」と、教えてくれました。わたしは、うれしかったです。

### ぼくの本

3さいのとき  
このしゃしんは、ぼくがスイカを食べているしゃしんです。ぼくのおじいちゃんとおばあちゃんが、このスイカを作ってくれました。ぼくがもちあげられないくらい大きなスイカでした。

### ぼくの本

小学校に入る前  
ぼくは、なわとびができませんでした。おとうさんが、とびかたを教えてくださいました。おねえちゃんもいっしょにとんでくれました。8回とべるようになりました。

### わたしの本

こんな3年生になりたい  
わたしは、どくしょがすきです。3年生になったら、としょじつにある本を100さつ読みます。きゅうしょくをのこすときがあります。きれいなものを、少しずつへらそうと思います。